

APIサービス提供のご案内について

大東京信用組合

当組合は、「大信ビジネスバンキング」サービス（以下、「ビジネスバンキング」という。）において、お客さまの利便性向上・セキュリティ強化を目的として、電子決済等代行業者（以下、「API連携事業者」という。）との連携を開始します。

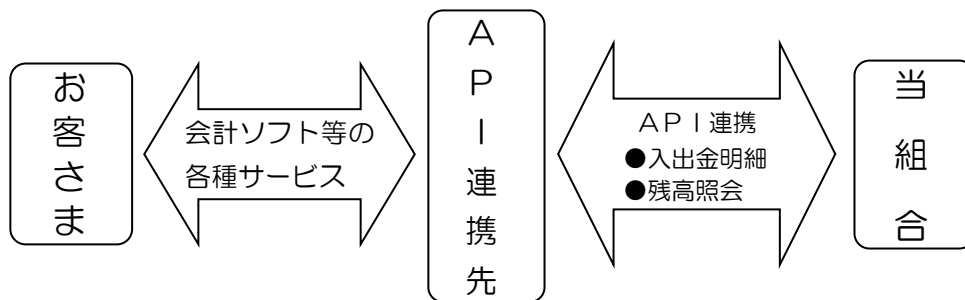
1. APIサービスについて

API※サービスとは、家計簿アプリや会計ソフト等を取扱うAPI連携事業者に対して、お客さまの同意を得たうえで、お客さまのIDやパスワードを預けることなく、残高や入出金明細等の情報を連携するサービスです。

お客さまがAPI連携先のサービスを利用するにあたり、従来よりも安全かつ安定的に利用できるようになります。

なお、当組合と連携するAPI連携事業者につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

※API（Application Programming Interface）とは、システム同士を接続する仕様・仕組みのことであり、当組合とAPI連携事業者のシステムをAPIで繋ぎ、お客さまに連携認証を行っていただくことで、当組合とAPI連携事業者がお客さま情報をより安全に取得することが出来るようにするための仕組みです。



2. API連携手順

- API連携手順については、[こちら](#)をご覧ください。

3. ご利用にあたっての留意点

- API連携サービスご利用にあたっては、当組合 [API利用規定](#) に同意していただくようお願いいたします。
- API連携サービスのご利用にあたっては、事前にAPI連携先のサービス利用契約および当組合大信ビジネスバンキングの利用契約が必要となります。
- API連携先へのお客さまの情報提供を停止する場合は、API連携先への利用停止手続きが必要です。
- API連携先とのAPI連携サービスには、有効期限が定められています。有効期限が過ぎた場合は、再度、API連携認証（利用登録）を行っていただく必要がございます。
- API連携サービスは、当組合が提供するサービスではございません。サービス内容等についてご不明な点につきましては、各API連携事業者へお問い合わせください。